

第4次芦屋市地域福祉計画の概要版の作成について

1 地域福祉部会での意見

- (1) 計画書に分かりやすい言葉を使ってほしい
- (2) 漢字や専門用語が多くて難しい



2 市の対応

- (1) 法律, 制度の名称などに漢字が多く, 説明のためには使わざるを得ない
- (2) 分かりやすい言葉を使うと, 趣旨を伝えにくい(説明をしつくせない)



できる限り分かりやすい言葉を意識しましたが…

結論

「地域福祉計画の取扱説明書(概要版)」を作成する

3 地域福祉計画の取扱説明書(概要版)の作成メンバーとスケジュール(案)

(1) 作成メンバー

検討チーム 地域福祉部会委員2～3名 + 一般の人2～3名(若い人は必須) + 事務局

(2) スケジュール

時期	内容
11月上旬	部会メンバーと事務局で打合せ(顔合わせ, 新たなメンバーの協議)
11月中	新たなメンバーの決定
12月上旬	第1回作戦会議(打合せ)
1月中旬	第2回作戦会議(打合せ)
1月下旬	第5回地域福祉部会で現時点の概要版をお披露目
2月中旬	第3回作戦会議(打合せ)
3月上旬	第4回作戦会議(打合せ) / 完成
3月下旬	納品

打合せの日程は、みんなで話し合って決めます

4 地域福祉計画の取扱説明書(概要版)で目指しているもの

- (1) これを基に地域福祉を考えてもらうきっかけとなる
- (2) 地域福祉が自分と関係があることだと感じるができる内容
- (3) 計画はこういうことを言っているのか, と大切な中身が理解できる内容
- (4) 面白そう, 見てみようと思わせるデザインやレイアウト(計画書のように, 細かく書きすぎない)
- (5) 中学生が理解できる程度の市民が分かりやすい言葉を使用